

株式会社ツムラ

2016年度決算説明会

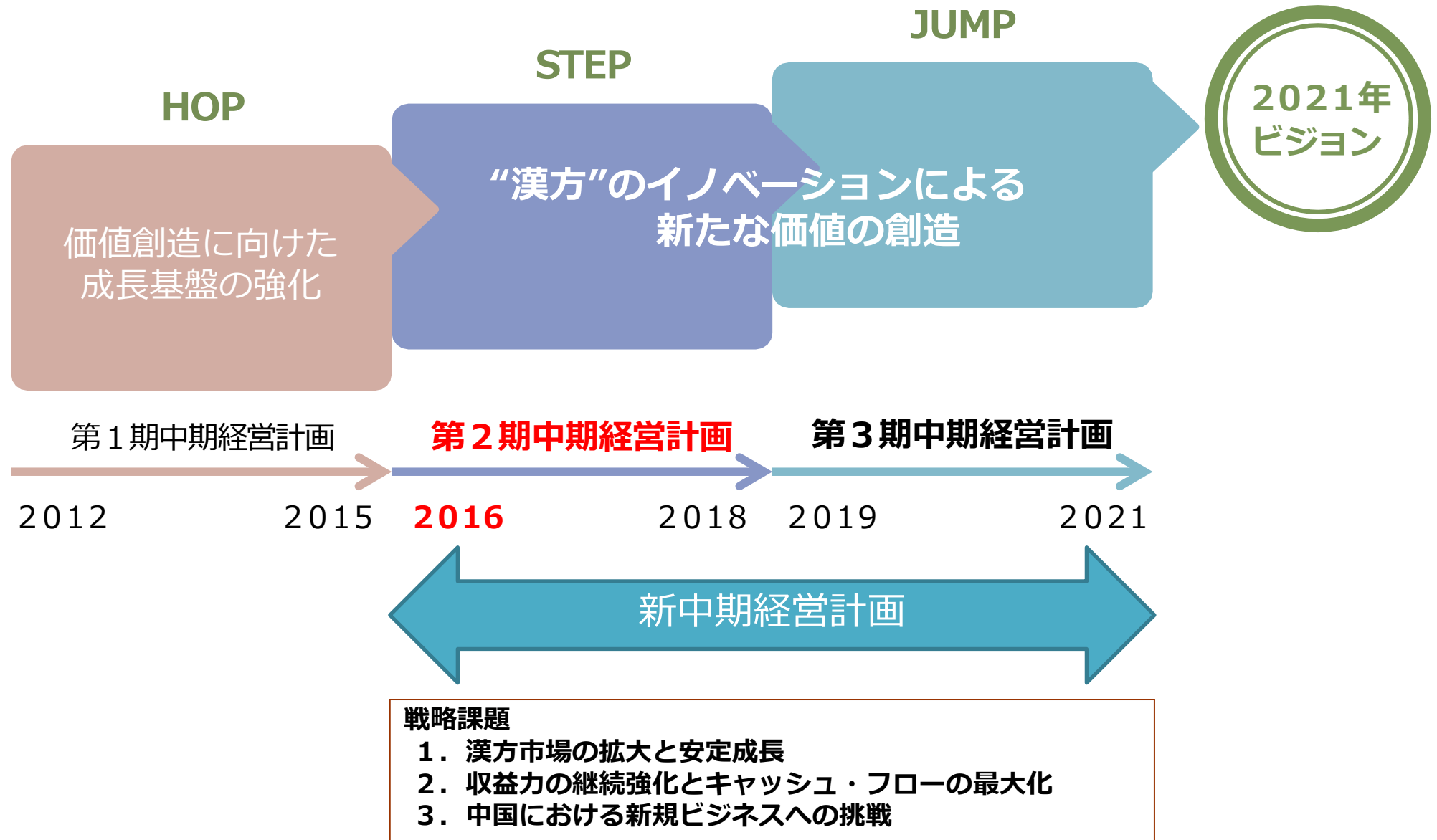
(2016年4月1日～2017年3月31日)

2017年5月12日(金)

代表取締役社長

加藤 照和

長期経営ビジョン実現へのロードマップ



E S Gに関するツムラグループの取り組み

ツムラグループは本業である「漢方・生薬事業」を通じて持続的な社会に貢献します

<p>E（環境）</p> <p>生薬資源・自然環境の保護、野生生薬の栽培化研究、循環型社会の実現への貢献、ゼロエミッション維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓中国野生生薬栽培化研究（生薬資源・自然環境の保護） 中国中医科学院他との共同研究：甘草・大黄・蒼朮ほか ✓国内生薬栽培研究 八戸市・石狩市 びゃくし 八戸市・室内栽培研究：人参、黄連、当帰、蘇葉、柴胡、白芷 石狩市・室内菌床栽培研究：茯苓
<p>S（社会）</p> <p>生薬栽培による1次産業の活性化への貢献、高齢者・障がい者の雇用機会の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓国内生薬栽培拡大 熊本県（柴胡：葉タバコからの転作等） あさぎり町・あさぎり薬草合同会社との薬草加工所（旧深田中学校グラウンド）建設に伴う立地協定書締結 ✓てみるファーム（社会福祉法人はるにれの里 障がい者）他露地栽培：蘇葉、室内大規模栽培：茯苓
<p>G（ガバナンス）</p> <p>実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築と運用、株主・投資家との対話</p>	<p>“持続的な成長と中長期的な企業価値向上”を目指したコーポレート・ガバナンス体制の充実：監査等委員会設置会社（独立社外取締役が過半数）への移行を予定（本年6月の株主総会承認後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 取締役会の業務執行の監督機能のさらなる強化 ✓ 経営のさらなる効率化と透明性の向上 ✓ 権限委譲による執行責任の明確化と意思決定の迅速化

2016年度決算

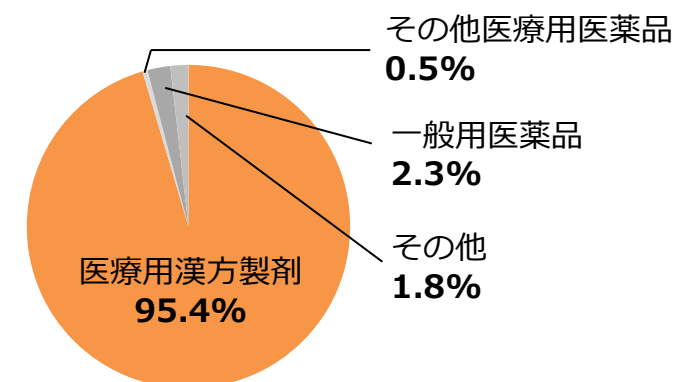
2016年度決算の概要

(百万円)

	2016年度 計画	2016年度 実績	達成率	2015年度 実績	前期比	
					金額	伸長率
売上高	115,400	114,954	99.6%	112,625	2,328	2.1%
営業利益 (営業利益率)	14,500 (12.6%)	15,983 (13.9%)	110.2%	19,826 (17.6%)	-3,842	-19.4%
経常利益	15,000	16,399	109.3%	19,494	-3,094	-15.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,700	12,488	116.7%	12,557	-68	-0.5%

	2016年度 計画	2016年度 実績	2015年度 実績
E P S	152円	179円	178円
R O E	6.9%	8.1%	8.3%

売上高構成比



決算のポイント

- 漢方販売の堅調な推移により増収。
- 薬価改定および生薬関連コストの影響を受け減益となるが、利益計画は達成の決算。

連結売上高	114,954 百万円	計画達成率	99.6%	前期比	2.1%
-------	--------------------	-------	--------------	-----	-------------

- 医療用漢方製剤の販売が薬価改定（-3%）の影響を受けながらも堅調に推移したこと等により、前期比23.2億（2.1%）増収。計画達成率は99.6%。

営業利益	15,983 百万円	計画達成率	110.2%	前期比	-19.4%
------	-------------------	-------	---------------	-----	---------------

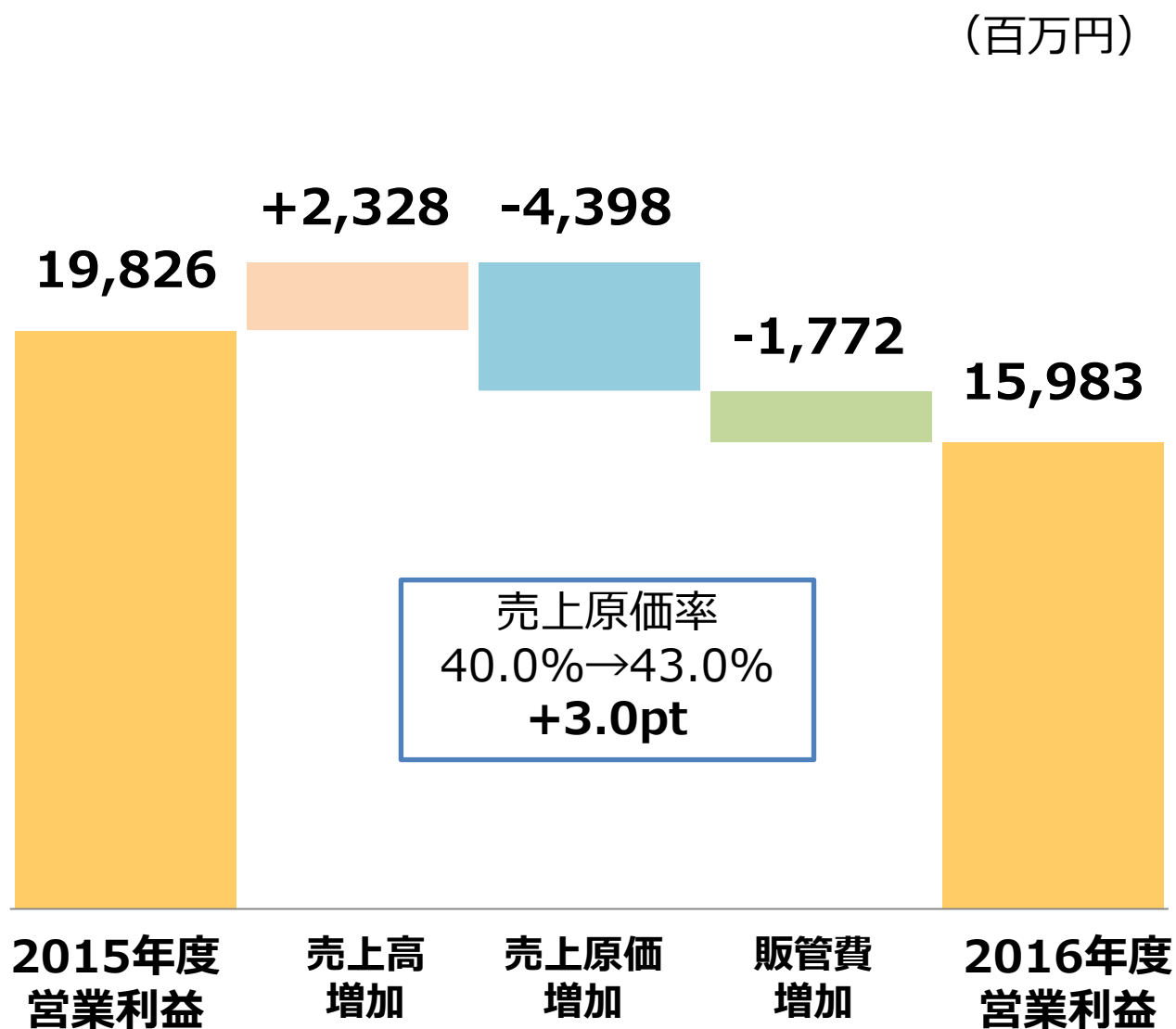
営業利益率	13.9 %			前期比	-3.7pt
-------	---------------	--	--	-----	---------------

- 売上原価率は、薬価改定の影響および生薬関連コストの増加等により、前期比3.0ポイント上昇の43.0%。計画に対しては、生産性向上による加工費の改善等により、0.9ポイント下回った。
- 販管費率は、広告宣伝費および人件費等の増加により、前期比0.7ポイント上昇の43.1%。計画に対しては、経費抑制等により、0.4ポイント下回った。

経常利益	16,399 百万円	計画達成率	109.3%	前期比	-15.9%
------	-------------------	-------	---------------	-----	---------------

親会社株主に帰属する 当期純利益	12,488 百万円	計画達成率	116.7%	前期比	-0.5%
---------------------	-------------------	-------	---------------	-----	--------------

営業利益の増減要因（前期比較）



売上高増減内訳

項目	増減額 (百万円)
医療用漢方製剤129処方	+2,048
その他	+280

売上原価率増減内訳

項目	増減額 (Pt)
薬価改定	+1.3Pt
生薬関連コスト	+2.5Pt
加工費の改善	-0.4Pt
その他	-0.4Pt

販管費増減内訳

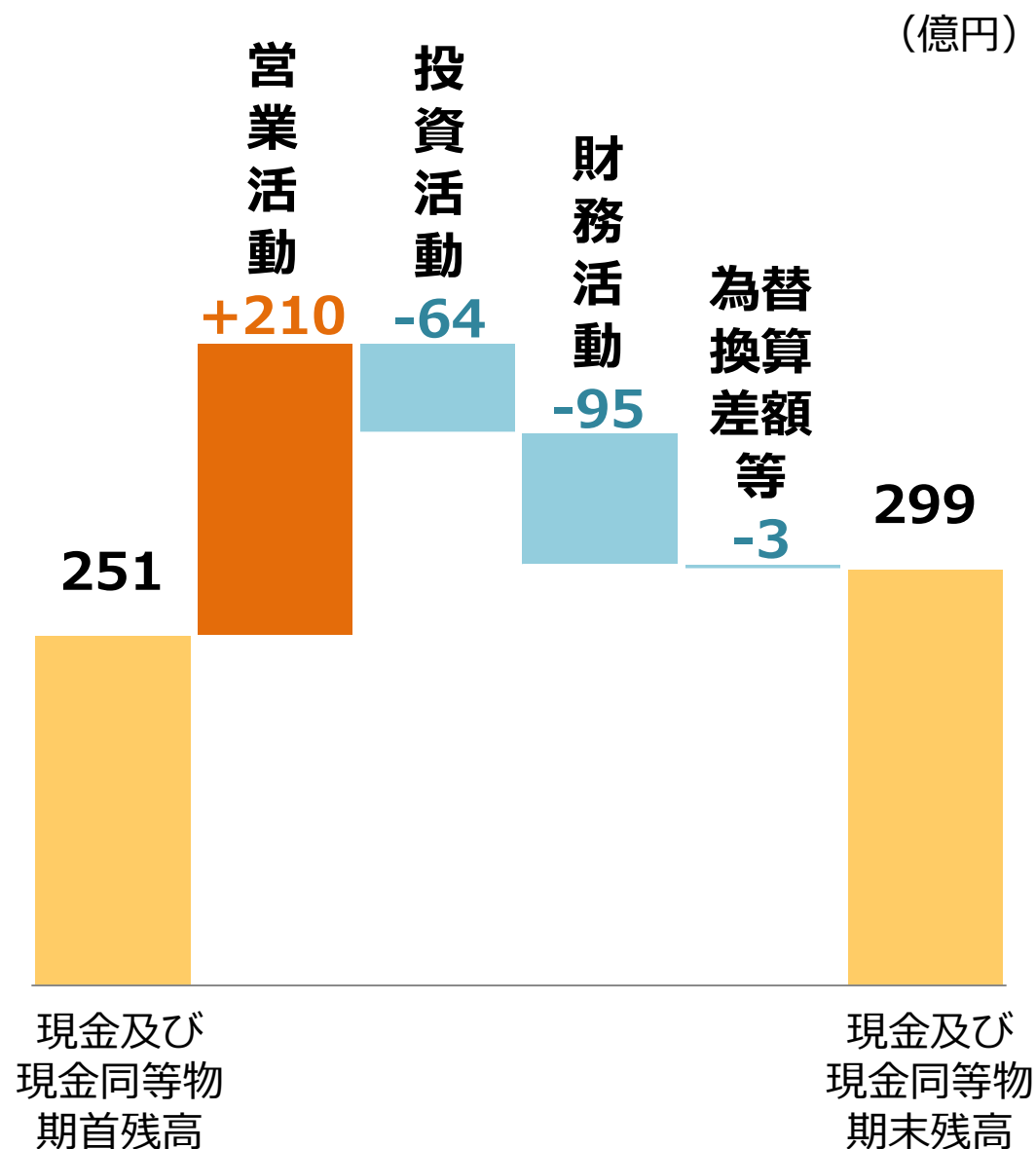
項目	増減額 (百万円)
販促費、感謝金	+253
研究開発費	+118
広告宣伝費	+171
人件費	+579
その他	+649

財政状態とキャッシュ・フローの状況

バランスシート

	(百万円)		
	2016年 3月末	2017年 3月末	増減額
資産合計	222,468	222,008	-459
流動資産	133,668	134,679	1,010
固定資産	88,799	87,329	-1,469
負債合計	66,765	64,611	-2,153
流動負債	43,702	31,883	-11,818
固定負債	23,063	32,727	9,664
純資産合計	155,702	157,397	1,694
自己資本比率	68.8%	69.7%	+0.9pt

キャッシュ・フロー



2017年度業績予想

2017年度業績予想

(百万円)

	2016年度	2017年度予想	前期比	
			金額	伸長率
売上高	114,954	120,700	5,745	5.0%
営業利益 (営業利益率)	15,983 (13.9%)	17,600 (14.6%)	1,616	10.1%
経常利益	16,399	18,100	1,700	10.4%
当期純利益	12,488	12,700	211	1.7%

	2016年度	2017年度予想
配当金 (1株当たり)	64円	64円
E P S	179円	184円
R O E	8.1%	8.0%

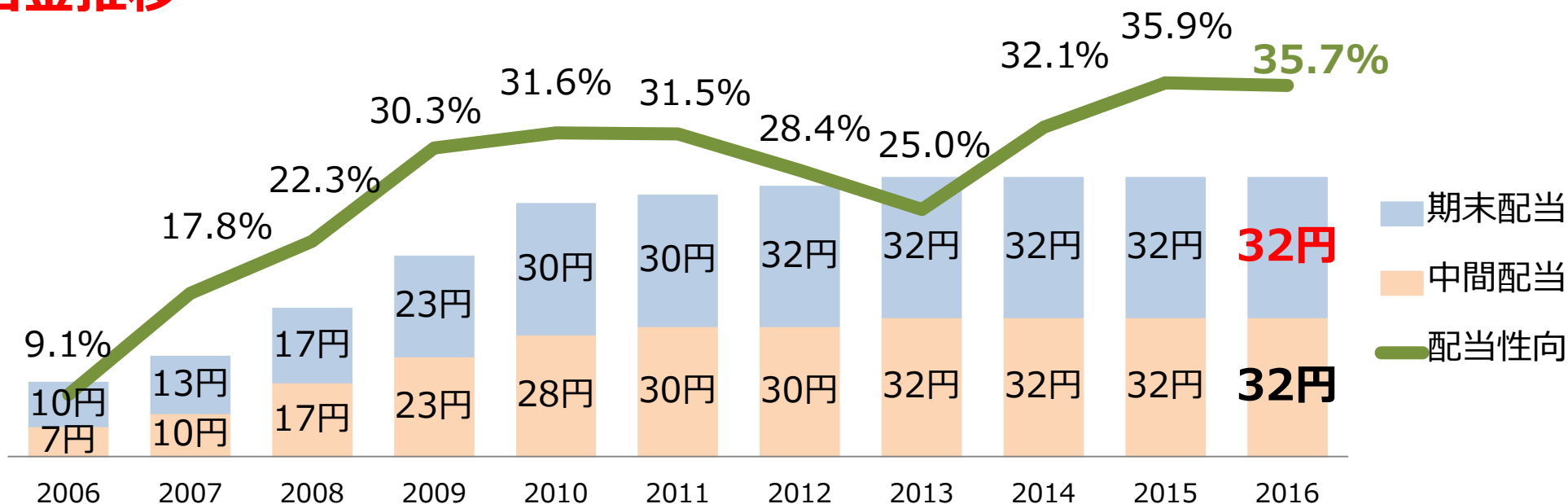
株主還元

株主還元

方針

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向等を総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

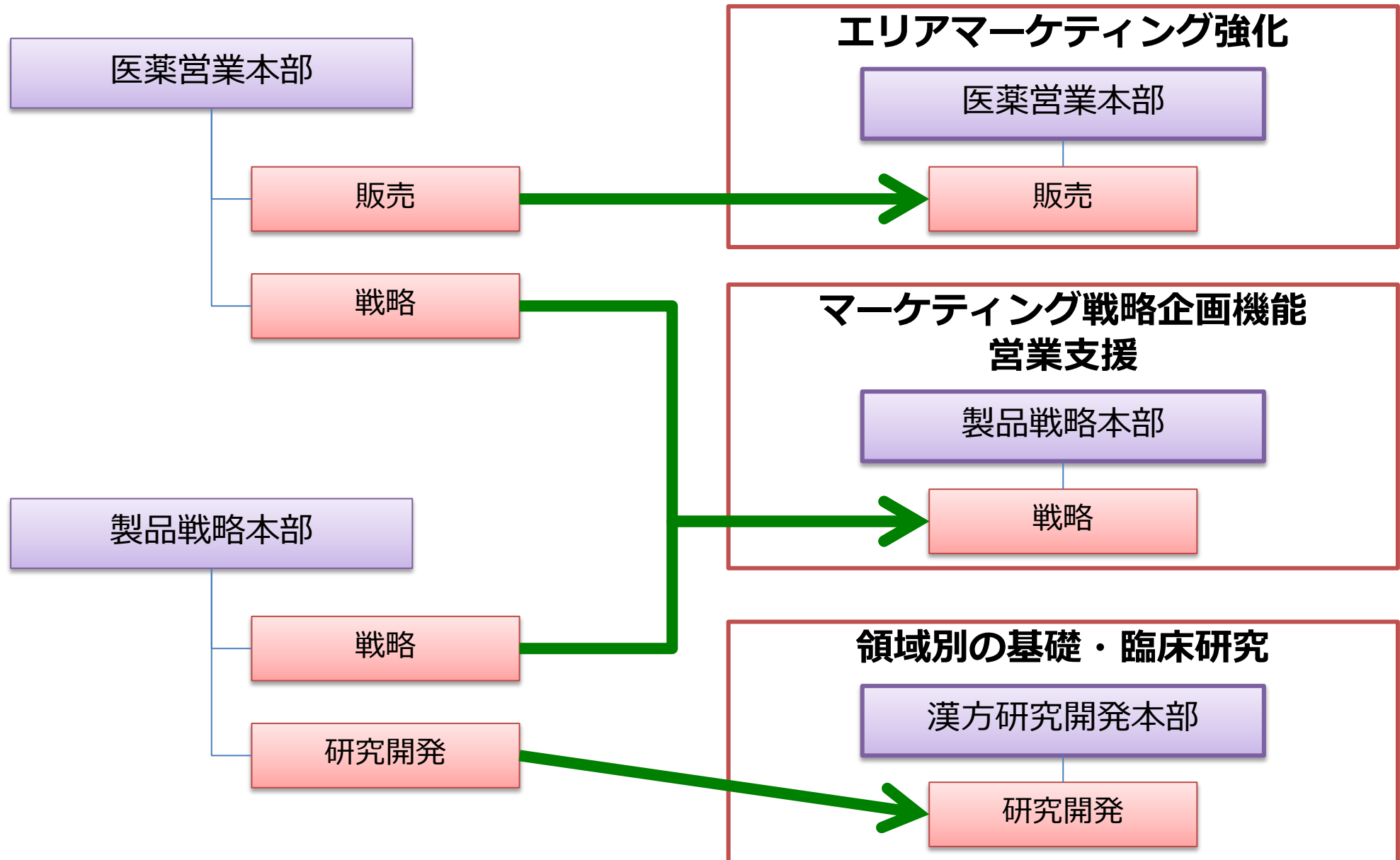
配当金推移



(注) 2016年度の期末配当金および配当性向は、第81回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

戦略課題の進捗

組織改革（4月1日付）による機能強化



戦略課題 1 漢方市場の拡大と安定成長

マーケティング戦略

- ◆集中化領域：“MR力”（育薬処方など）
- ◆新領域展開：“仕組み”（Growing処方など）

環境の変化 / 行政の動向

「健康日本21」「新オレンジプラン」「地域包括ケアシステム」
「がん対策加速化プラン」「女性活躍推進法の成立」



- ◆医療ニーズが高く、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域において、漢方製剤が特異的に効果を発揮する領域を拡大
- ◆潜在ニーズの顕在化と漢方製剤による新たな解決法の提案

診療のガイドライン掲載へ

戦略課題 1 漢方市場の拡大と安定成長

重点3領域

高齢者関連 領域

- 『健康日本21』（健康寿命の延伸）
- 『新オレンジプラン』（認知症施策の推進）
- 『地域包括ケアシステム』（在宅医療の推進）
 - ・ B P S D（認知症の行動・心理症状）：抑肝散など
 - ・ 老年愁訴症候群：補中益気湯、**六君子湯**、牛車腎気丸など

がん領域 (支持療法)

- 『がん対策加速化プラン』～がん支持療法（抗がん剤の副作用軽減）～
 - ・ 術後消化管機能障害：**大建中湯**
 - ・ 食欲不振、嘔気：**六君子湯**
 - ・ 口内炎：半夏瀉心湯
 - ・ 術後せん妄（神経症）：抑肝散

女性関連 領域

- 『女性活躍推進法』～女性のライフステージごとのケア～
 - ・ 思春期：当帰芍薬散
 - ・ 性成熟期：桂枝茯苓丸、当帰芍薬散
 - ・ 更年期：加味逍遙散

戦略課題 1 漢方市場の拡大と安定成長

「がん対策加速化プラン」

(厚生労働省：平成27年12月)

- ① 予防 ～避けられるがんを防ぐ～
- ② 治療・研究 ～がん死亡者の減少～
- ③ **がんとの共生** **～がんと共に生きる～**



～**支持療法**の開発・普及～

<実施すべき具体案>

「特に術後の合併症・後遺症を軽減する観点から、
栄養療法、リハビリテーション療法や
漢方薬を用いた**支持療法**に関する研究を進める」

食欲不振・嘔気	： 六君子湯
口内炎	： 半夏瀉心湯
術後せん妄（神経症）	： 抑肝散

がん医療の拠点施設等と連携し
抗がん剤の副作用軽減に対するエビデンスを集積

戦略課題 2 収益力の継続強化とCFの最大化

設備投資額

【2016年度～2018年度（3年間）】

2016年5月公表
約300億円



2017年5月現在
約330億円

(百万円)

2016年度		2017年度		比較増減	
金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
6,455	5.6%	15,100	12.5%	8,644	133.9%

主な内容
茨城工場の新製造棟など

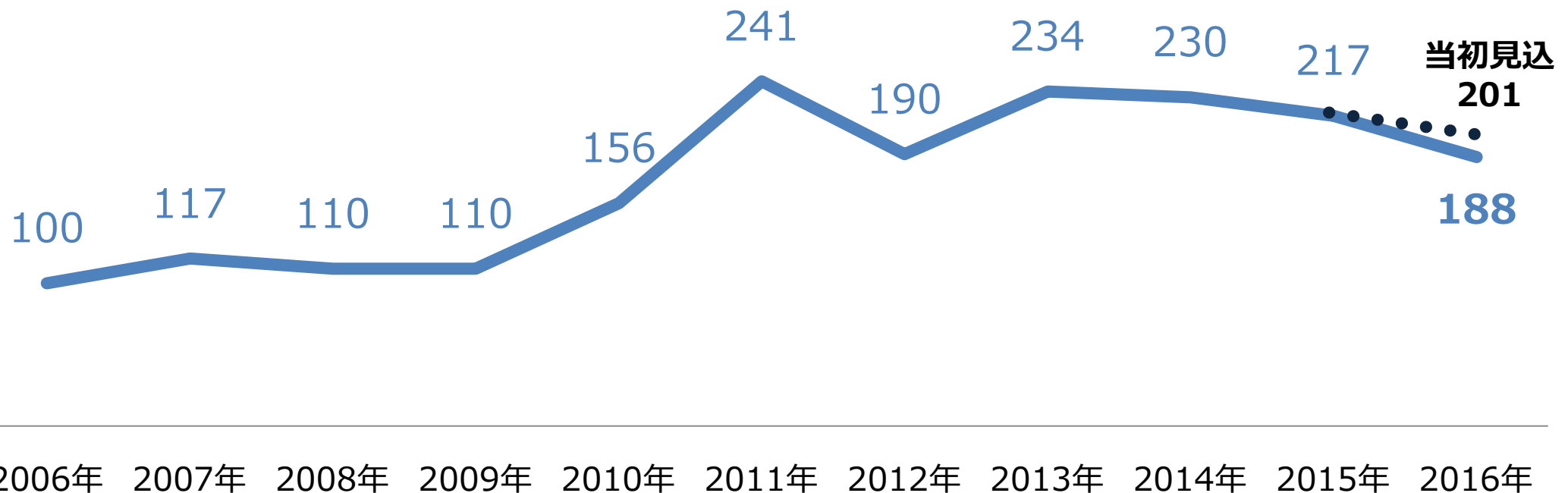
戦略課題 2 収益力の継続強化とC Fの最大化

生薬価格の推移

中国産全生薬の購入価格

(産地会社→関連会社 実績と見込) 加重平均値

2006年を100とした場合



2016年からの購入価格見込について
これまでの「調達手配量ベース」ではなく
「使用量ベース」に換算して算出

2011年
①中国国内での生薬需要増
②天候不順
③投機的買占め

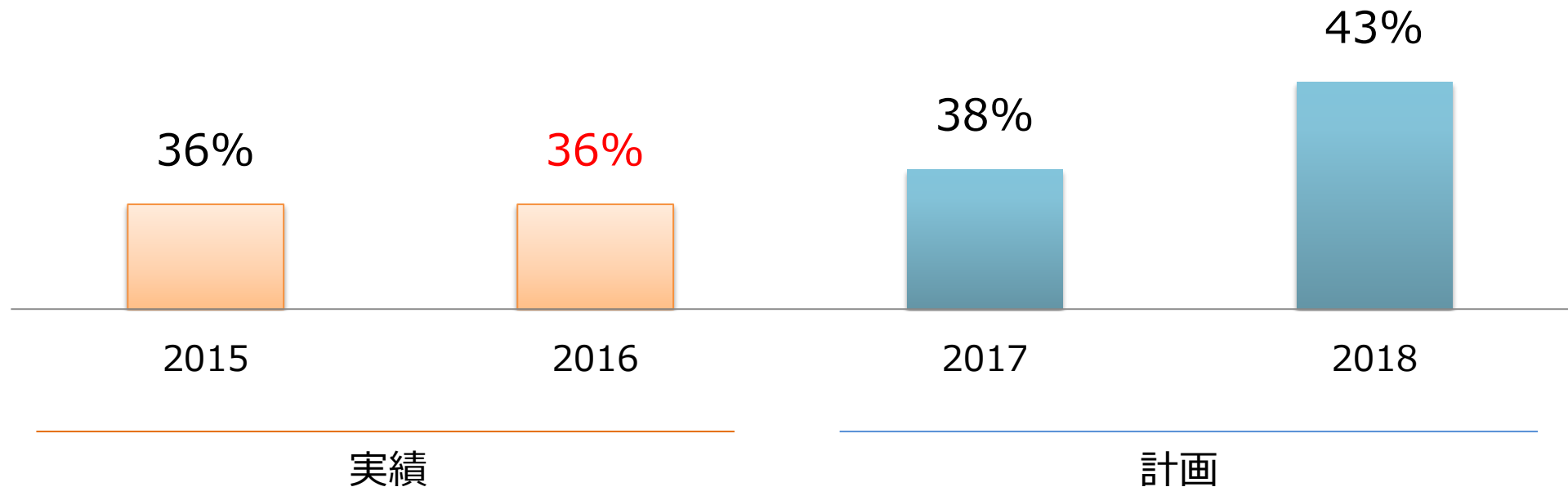
2013年
人參価格高騰など

2015年
人參単価の下落
①投機目的の購買解消方向
②市場への供給量増加

戦略課題 2 収益力の継続強化とC Fの最大化

自社管理圃場の拡大

- ・ 価格安定と品質保証強化を実現する生薬調達
- ・ 適正な比率で自社管理圃場を拡大する



- ・ 競争原理に基づく購入体制の強化および合理化
- ・ 生薬品質の追求・安全性担保体制のさらなる強化

数量比率は、中国での協議栽培および日本国内の契約栽培を含む

自社管理圃場とは、『一定規模の栽培面積を有し、当社の直接的な栽培指導ができ、栽培にかかるコストの把握とそれに基づく生薬の購入価格設定が可能な圃場』

戦略課題 3 中国における新規ビジネスへの挑戦

津村（中国）有限公司の設立（2016年12月）

中薬配合顆粒生産、日本向け生薬・エキスの輸出等、既存事業と新規事業にまたがる中国におけるサプライチェーン・人財・資金を統括管理

上海上薬津村製薬有限公司の設立（2016年7月）

中薬配合顆粒事業

製造承認に向けた試作を実施中

工場用地（上海地区）の取得を準備中

深圳津村薬業有限公司

中国刻み生薬事業（飲片）

販売チャネル拡大に向けて取り組み中

生薬の提供を受けている中国
中国国民の健康への貢献

中国市場への
チャレンジ

営業戦略

～漢方市場の拡大と安定成長に向けて～

常務執行役員
医薬営業本部長
高崎 隆次

重点処方のエビデンス構築状況

臨床的EBM・作用機序・副作用発現頻度調査・薬物動態(ADME)・医療経済学的データ

	処方名/製品No.		メタ解析	RCT	作用機序	副作用発現頻度調査	薬物動態ADME	医療経済学的データ	ガイドライン掲載
育薬処方	大建中湯	TJ-100	論文投稿中	25	◎	◎	◎	◎	小児慢性機能性便秘症診療、全身性強皮症診療
	抑肝散	TJ-54	2	14	◎	◎	◎	△	認知症疾患治療、かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用(第2版)
	六君子湯	TJ-43	—	18	◎	実施中	◎	—	機能性消化管疾患診療、心身症診断・治療、GERD診療、全身性強皮症診療
	牛車腎気丸	TJ-107	—	14	△	—	○	—	前立腺肥大症診療、過活動膀胱診療、神経障害性疼痛薬物療法
	半夏瀉心湯	TJ-14	—	5	○	—	—	—	—
G処方	補中益気湯	TJ-41	—	9	○	—	—	—	女性下部尿路症状診療
	芍薬甘草湯	TJ-68	—	9	△	○	◎	—	筋萎縮性側索硬化症診療
	麦門冬湯	TJ-29	—	5	—	—	—	—	咳嗽、EBMに基づいた喘息治療
	加味逍遙散	TJ-24	—	4	—	—	—	—	産婦人科診療、心身症診断・治療
	五苓散	TJ-17	—	2	—	—	—	◎	慢性頭痛の診療

(注) 上記◎○△は、研究論文の数や充実度等に基づき段階評価して表記(自社基準)

2016年度実績

項目	目標	実績
論文数	50	51
インパクトファクター	100	120
疾患・診療ガイドライン掲載数(推奨あり)	25	23

重点3領域における成果

- 育薬5処方 of 合計伸長率は1.2% (3.4億円増)
- Growing5処方 of 合計伸長率は1.9% (4.4億円増)

育薬処方

処方名	製品No	売上高	増減	前期比	
				金額	数量
大建中湯	TJ-100	10,328	55	0.5%	3.6%
抑肝散	TJ-54	7,330	115	1.6%	4.9%
六君子湯	TJ-43	6,863	259	3.9%	7.4%
牛車腎気丸	TJ-107	3,733	-105	-2.7%	0.4%
半夏瀉心湯	TJ-14	1,276	25	2.0%	4.8%
育薬処方 計		29,532	349	1.2%	4.0%

Growing処方

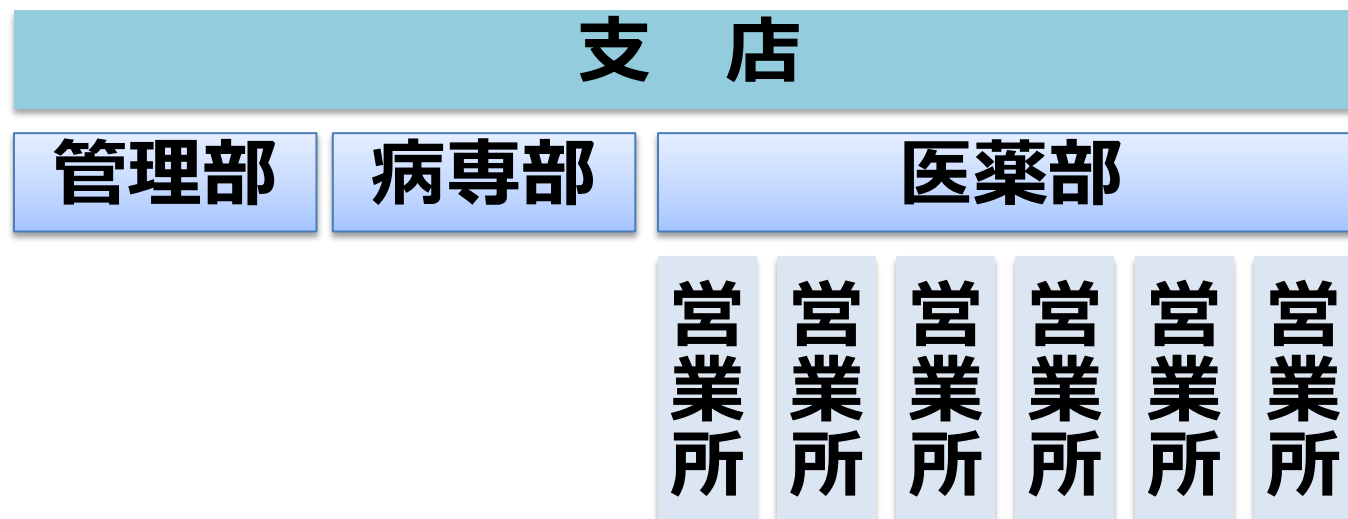
(百万円)

処方名	製品No	売上高	増減	前期比	
				金額	数量
補中益気湯	TJ-41	6,947	-21	-0.3%	2.8%
芍薬甘草湯	TJ-68	4,853	165	3.5%	6.3%
麦門冬湯	TJ-29	4,511	16	0.4%	3.5%
加味逍遙散	TJ-24	4,465	0	0.0%	3.3%
五苓散	TJ-17	3,363	280	9.1%	12.6%
Growing処方 計		24,141	442	1.9%	5.6%

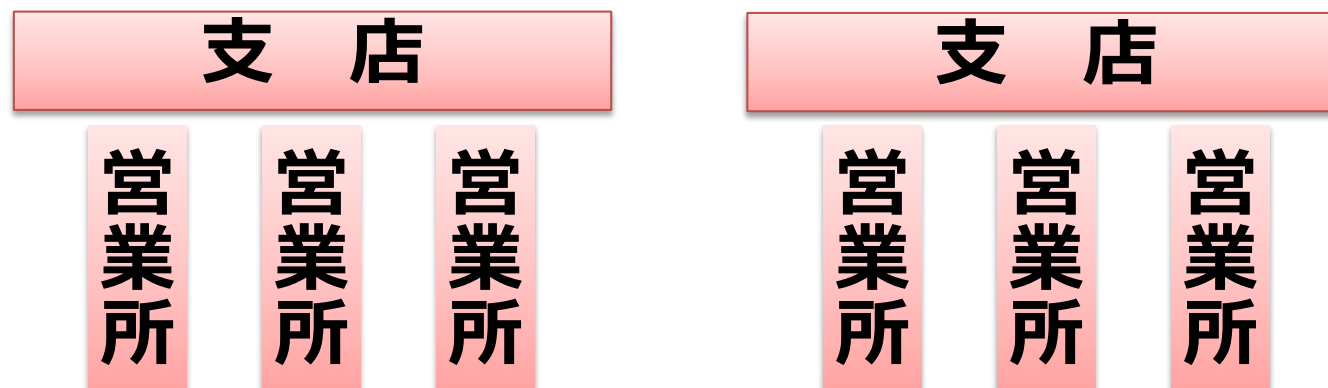
医療用漢方製剤 129処方 合計	109,647	2,048	1.9%	5.0%
---------------------	---------	-------	------	------

新体制

旧体制
12支店



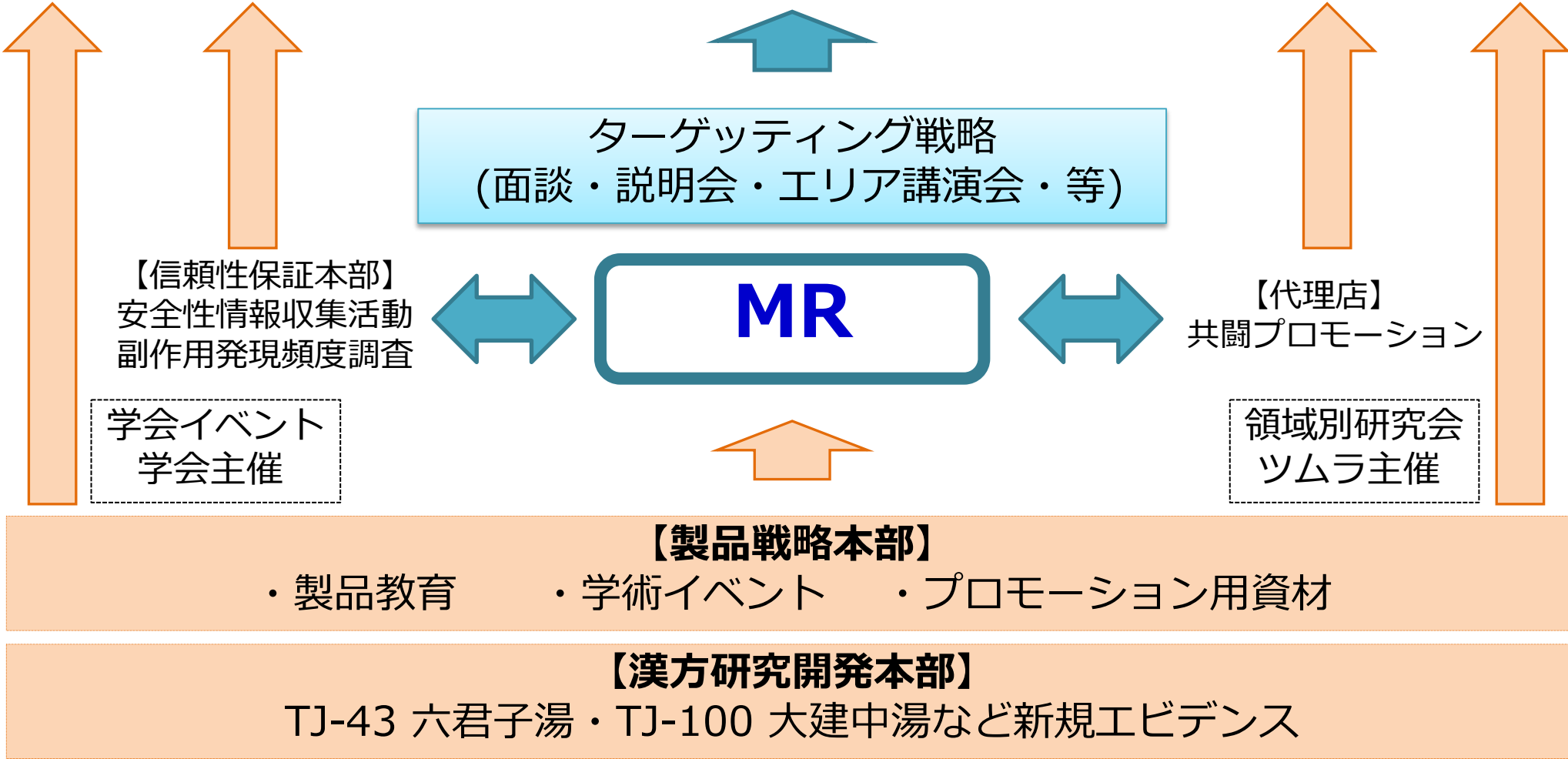
新体制
21支店



消化器領域での漢方処方展開

集中化・重点化

消化器領域（がん関連領域）



參考資料

重点品目の売上状況

(百万円)

順位	処方名		製品No.	主な効能・効果	2015年度 実績	2016年度 実績	前期比	
1	大建中湯	☆	TJ-100	腹痛、腹部膨満感	10,273	10,328	55	0.5%
2	抑肝散	☆	TJ-54	神経症、不眠症など	7,215	7,330	115	1.6%
3	補中益気湯	○	TJ-41	病後の体力増強、食欲不振など	6,968	6,947	-21	-0.3%
4	六君子湯	☆	TJ-43	胃炎、消化不良、食欲不振など	6,604	6,863	259	3.9%
5	芍薬甘草湯	○	TJ-68	筋肉の痙攣を伴う疼痛など	4,688	4,853	165	3.5%
6	麦門冬湯	○	TJ-29	咳、気管支炎、気管支喘息	4,494	4,511	16	0.4%
7	加味逍遙散	○	TJ-24	冷え症、月経不順、更年期障害など	4,465	4,465	0	0.0%
8	牛車腎気丸	☆	TJ-107	下肢痛、腰痛、しびれ、排尿困難など	3,838	3,733	-105	-2.7%
9	柴苓湯		TJ-114	急性胃腸炎、むくみなど	3,351	3,399	47	1.4%
10	五苓散	○	TJ-17	浮腫、下痢、頭痛、暑気あたりなど	3,082	3,363	280	9.1%
20	半夏瀉心湯	☆	TJ-14	醗酵性下痢、神経性胃炎、口内炎など	1,250	1,276	25	2.0%
医療用漢方製剤 1 2 9 処方合計					107,599	109,647	2,048	1.9%

☆ : 育薬処方

○ : Growing処方

医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省）

2001年3月発表、2002年度導入
和漢薬を概説できる

2011年3月改訂
和漢薬（漢方薬）の特徴や使用の現状について概説できる

2017年3月改訂
漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、
薬理作用を概説できる

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
I R 推進グループ
TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。